









庄川大門の大わんどの機能は？



護岸の破壊と溪流魚の生息環境



環境に配慮した砂防・河川工事



環境に配慮した砂防・河川工事のヒント



環境に配慮した砂防・河川工事のヒント 間伐材を利用した護岸



連続性の回復

- ・ダムの撤去、改修
- ・魚道が不要な形式の施設の開発
- ・魚道の設置
- ・魚道の効果判定手法の問題（少なくとも、個体群動態に基づいた評価）
- ・確実な成功事例をあげ、そのノウハウの共有化（魚道はマニュアル化しにくい部分が多い）
- ・連続性回復の適否の検討



新しい技術開発のために. . .

- 環境, 特に生態系の保全を十分に満足する土木技術は未開発
- 新たな技術開発のためには以下の過程が不可欠
 - 事前検証(一種のアセスメント)
 - 新たな試み
 - モニタリング・効果検証
 - 改良点の抽出
 - さらなる技術改良(フィードバック)
- 何よりも意識, 感覚と意志(設置者)

地球環境問題を考える上で, 認識しておかなければならぬ基本事項(川那部浩哉氏, 応用生態工学会発足時のメッセージより)

- 地球は閉鎖系である
- ものごとは, 想像以上に, 深く複雑に絡まり合っている
- 科学や技術の発達はまだまだ不完全であり, 少なくとも当分のあいだは, 自然のごく一部をしか解明し, あるいは解決し得ない
- 地球, 自然の歴史性がひじょうに重要である